

連携だより おおもり日赤



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新春号 (第 26 号)
平成 22 年 1 月発行
日本赤十字社東京都支部
大森赤十字病院

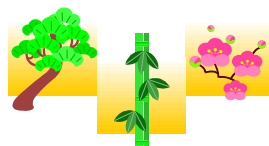
〒143-8527

東京都大田区中央 4 丁目 30 番 11 号

TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

★★★ 院長より新年のご挨拶★★★



《《 2010 年の新年のあいさつ 》》

院 長 山之内 博

あけましておめでとうございます。

日ごろから先生方と私ども大森赤十字病院との医療連携を推進していただき、心から感謝いたしております。連携がよりスムーズになるように、当院は 4 年ほど前から連携室のスタッフを強化しており、先生方のお役に立つよう活動しております。詳細につきましては、昨年 1 月 1 3 日におこなわれました地域医療連携協議会で報告させていただきましたが、いままでのところ、紹介患者、返送、逆紹介患者、開放病床などの当院施設の利用や救急搬送件数、など順調に経過しているように思われます。

次に勉強会の件ですが、従来からのものに加えて 3 年まえから 3 医師会様などとの共催で、新たに「診療に役立つガイドラインの解説」シリーズを定期的に開催しております。今年の場合は 1 月 20 日(水)、7 時 15 分より大森東急インで開く予定です。テーマとしては、高血圧治療、パーキンソン病治療の二つを考えております。こうした勉強会を通して、先生方との連携をさらに深めてゆきたいと思っております。

さて、私どもにとって念願の病院改築のことですが、一昨年の 2 月から始まった全面的な改築工事は順調に進みまして、今春には新病院の大部分が建ちますので、今年の 5 月の連休明けから新病院で診療する予定です。

利用される患者様にとって良い病院であることが第一で、安全のために免震構造とし、配置や部屋などできるだけ良いものにしたいと考えております。地下 2 階、地上 7 階で、5 月からは 302 床(全部完成しますと 315 床)でスタートの予定です。

新病院に向けて重視した点は、まず 6 床の ICU (CCU を含む) を新設したこと、放射線機器を充実させ、1.5 テスラの MRI の導入、64 列の CT、SPECT 検査の RI 装置、そして放射線画像システムを導入してフィルムレスにする予定になっています。次に産科部門を強化し分娩室は緊急手術対応可能な個室化、陣痛室も個室化します。従来 9 床だった透析室を 15 床にし、手術室も増やし、検査部門では超音波、内視鏡、心電図などの検査室を大幅に増やすことにしています。また、外来での化学療法を充実させたいと考えております。

大森赤十字病院はいままで地域密着型の病院として活動してきました。これからも従来通り地域の医療を担う病院のひとつとしての役割を果たしてゆきたいと思っております。また、災害時の救護は日赤病院のもうひとつの役割です。万一、大規模地震が発生した場合には拠点病院のひとつとして救護活動に邁進するつもりです。

私どもは「信頼され心あたたまる病院」を基本理念としております。これからもますます連携を深めてゆきたいと念願しています。本年もどうかよろしく願いいたします。



★★★ 地域医療連携協議会★★★



平成 21 年 11 月 13 日(金) 大森東急イン (フォレストルーム) にて、大森医師会より 鐺木 公夫会長、北條 稔副会長、石井 一平理事、溝谷 弘成理事、蒲田医師会より 黒田 俊会長、南雲 晃彦副会長、熊谷 頼佳理事、田園調布医師会より 並木 敦也理事、品川区医師会より 上野 正巳副会長、吉田 三夫副会長、小路 良副会長、荏原医師会より 原 正博副会長、中村 兼一副会長にご出席をいただき、平成 21 年度地域医療連携協議会が開催されました。地域医療連携協議会は、関係機関と密接な連携を図りながら、患者中心の持続性のある適正な医療を確保するとともに、一層の地域医療の向上に寄与するために年 1 回開催しております。

なお、今年度の議事は紹介、逆紹介患者数、医師会紹介患者入院数、開放病床利用状況、高額医療機器共同利用状況、救急患者・救急車受入状況、医師会登録件数、地域医療機関を含む研修会実績状況、家庭医療講座開催実績等、報告させていただきました。

また第一外科部長 佐々木 慎より『絞扼性長閉塞—当科の治療成績を中心に—』、大森医師会理事 鈴木 央先生より『在宅医療の現場から病院に期待すること』について演説をしていただきました。

協議会にて



懇親会にて



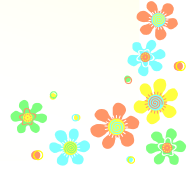


【病院の基本理念】

信頼され心あたたまる病院

【基本方針】

1. 安全で質の高い・患者様の立場にたった丁寧な医療を提供します。
2. 救急医療の充実と発展に努めます。
3. 地域医療連携を推し進めます。
4. 災害救護に積極的に取り組みます。
5. 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
6. 医療従事者の教育と研修を推進します。



新任医師紹介

★ 麻酔科医師

おおと ひろたか
大戸 浩峰

出身大学 東京医科歯科大学
 専門分野 麻酔
 学会専門医等 麻酔専門医
 自己PR 安全に手術がおこなえるように頑張ります。
 よろしくお願ひします。



★ 整形外科医師

さくらい たつろう
櫻井 達郎

出身大学 東邦大学
 専門分野 関節外科、整形外科一般
 学会専門医等 日本整形外科学会専門医
 自己PR 平成21年12月から赴任いたしました。
 よろしくお願ひ致します。



~よろしくお願ひ致します~

退職医師紹介

- ★ 麻酔科医師 伊達 依子
- ★ 整形外科医師 五十嵐 昇

~お世話になりました~

お知らせ

第18回診療に役立つガイドラインセミナーのご案内

日時：平成22年1月20日（水）19：15～
 場所：大森東急イン 5階
 司会：大森医師会学術担当理事 鈴木 央先生

《講演会》

1. パーキンソン病治療ガイドラインを中心に 大森赤十字病院 院長 山之内 博
2. 高血圧治療ガイドライン2009—up to date— 横浜市立大学大学院医学研究所 病態制御内科学 教授 梅村 敏先生

※なお、本セミナーには日医生涯教育講座5単位が認定されております。

★★★連携室よりお知らせ★★★



《FAX予約について》

患者様のご紹介予約および検査予約をFAXで受付けることができます。個人情報保護のためFAX用紙には患者氏名は記入しないことと致しますが、FAXを受けたら当院連携室より折り返しお電話を入れますので、患者情報をご教示ください。アポイントメントの調整は当院連携室が患者様のご自宅または携帯電話に直接連絡を入れて行います。このシステムにより先生方は診療を中止することなく予約が可能です。

つきましては、『FAX予約申込書』をご用意しております。必要がございましたら送付させていただきますので、連携室までご連絡ください。なお、従来通り電話での予約申込も行っております。

《消化器科予約のご案内》

消化器科外来予約に連携室専用の予約枠があります！

火曜日：太原 洋医師	} 各2名
水曜日：諸橋 大樹医師	
木曜日：井田 智則医師	

※なお、後藤医師の診療日は随時予約可能です。



《精神神経科のご案内》

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただきます。予約をいただいていない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

★★★登録医のご案内★★★

大森赤十字病院における地域連携システムの趣旨に賛同し、登録医に申請して頂ける先生方は是非ご登録下さいますようお願い申し上げます。

詳細につきましては医療連携室までお問い合わせください。



《医療連携室のご案内》

受付時間 月～金 8:30～17:00
担 当 看護係長 友岡道子
事務担当 鈴木文子、水村加織
休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始 (12/29～1/3)
5月1日 (日本赤十字社創立記念日)
T E L 03-3775-3676 (直通)
F A X 03-3775-3653
U R L <http://www.omori.jrc.or.jp/>
発 行 人 大森赤十字病院 医療連携係

